

◆平成 29 年度経営発達支援事業 評価報告

- ・経営発達支援事業検討委員会 平成 30 年 6 月 29 日（金）9:30～10:45
- ・出席者 本杉会長、栗山副会長、桑田副会長
岩坪委員（学術博士）、大石委員（中小企業診断士）、
市役所商工企業課 植田係長
事務局

1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）

地域の経済状況を調査し、当地域の特性、小規模事業者が抱えている課題を抽出し、販路開拓、新商品開発の推進に必要な情報を収集分析し、小規模事業者にとって有益な情報を提供するため実施する。

（事業内容）

29 年度においては、全国商工会連合会が定めている「小規模企業景気動向調査」を会員 40 件で実施。調査には業種別景況、売上、仕入単価、採算、資金繰り前期対比等を掲載。これらの報告書を必要に応じ巡回訪問等の際に経済動向情報などを提供した。また「調査レポート」を当会ホームページに掲載した。

（実績）

評価：C

支援内容	H29 目標	H29 実績
景気動向調査	100	40
地域内経済レポート発行	1	2

2. 経営状況の分析に関すること（指針①）

巡回・窓口調査により、小規模事業者が置かれている経営状況を把握し、外部環境並びに内部実態を踏まえ今後の活路を見出すために分析を実施する。

（事業内容）

29 年度においては、「会計ソフト活用セミナー」「新商品・新サービス開発セミナー」等の開催を実施し、財務分析、経営状況把握の必要性などの説明を行い、自社の経営状況内容を確認した。

（実績）

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
巡回訪問（1 人当り）	300	342
各種セミナー開催	5	4
経営状況分析	15	18

3. 事業計画策定支援に関すること（指針②）

地域経済動向調査結果及び業種・業態別の経営課題を踏まえ、課題解決できるよう支

援を行う。その際、小規模企業の専門性を十分に把握し成長出来る事業計画の作成を促す。また創業希望者の知識向上を図り、創業計画の策定支援を行う。

(事業内容)

29年度においては、「会計ソフト活用セミナー」「新商品・新サービス開発セミナー」「創業塾」等の開催を実施し、事業計画立案の重要性、必要性などの説明を行い、自社の事業計画を作成した。

(実績)

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
事業計画作成支援	10	73
セミナー・説明会の開催	2	3

4. 事業計画策定支後の実施支援に関すること（指針②）

「各種セミナー」参加者などが作成した「事業計画・創業計画」に対し、実現を可能にしつつ持続的発展を図るため伴走型支援を行う。

(事業内容)

29年度においては、「会計ソフト活用セミナー」「新商品・新サービス開発セミナー」「創業塾」等の開催を実施し参加した事業者が作成した「事業計画」「創業計画」についてのフォローアップを実施した。

(実績)

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
他機関支援策周知等によるフォローアップ	10	73

5. 需要動向調査に関すること（指針③）

需要動向調査を実施し、消費者の動向と小規模事業者に与える影響について把握する。事業を継続していくためには需要動向に基づいた商品・サービスの提供が求められる。新たな需要を掘り起こすため商談や販路開拓の進め方などキメ細かく支援する。

(事業内容)

29年度においては、会員内より「牧之原ブランド認定商品」などを募集し8社の「まきのはらブランド」認定商品を選定した。12/5に開催した「市内大規模企業との懇談会」、11/26「まきのはら産業フェア」、1/11「新春会員交流会」など会場内において認定商品の試験販売等を実施、後日事後の取組みについての打合せなどを実施した。

(実績)

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
モニター会開催	2	2
〃 参加事業者数	4	5

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（指針④）

需要動向調査を実施し、消費者の動向と小規模事業者に与える影響について把握する。事業を継続していくためには需要動向に基づいた商品・サービスの提供が求められる。新たな需要を掘り起こすため商談や販路開拓の進め方などキメ細かく支援する。

（事業内容）

29年度においては、H30.03に「販路開拓セミナー」を1回実施、その他出展については、県連合会、全国商工会連合会が運営するアンテナショップへの出展、しんきんビジネスマッチングフェア、いわた産業振興フェア、FOODEX JAPAN2018などへの出展支援を行った。

（実績）

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
販路開拓セミナー開催	1	1
展示会、商談会等参加事業者	2	15

7. 地域経済の活性化に資する取組

空き店舗対策と出張商店街事業の実施

既存店と協働しながら商店街を活性化させるため、空き店舗内で「ふるさと名物」などを展示、販売しPRする。また高齢者向け「出張商店街事業」を継続実施する。

（事業内容）

29年度においては、「軽トラ市」会場において女性部が完成させた「マキティーカレー」販売などを実施した。「出張商店街事業」においては、地域公民館を活用し実施した。その他「まきのはら産業フェア」「さがら湊食堂」などを実施した。

（実績）

評価：A

支援内容	H29 目標	H29 実績
商店街活性化会議	6	3
軽トラ市	5	5
しずなみ市	5	1
まきのはら茶づけ協力店	50	30
まきのはら産業フェア	0	1
さがら湊食堂	0	1

【委員からの意見】

- ・「経営発達支援計画」内にある様々なセミナーについて、セミナー参加者がセミナー終了後にどのように取り組んでいるのかを検証をされたい。セミナーに参加しただけで終了になっているような感が見られるため。
- ・景況調査について、調査した内容についてのフォロー等、より深く掘り下げ小規模事業者にとってどんな支援が必要なのかを検討し、より良い支援に今後も取り組むようにされたい。
- ・「まきのはらブランド」の取組みは継続して取り組まれたい。また認定したブランド商品を空き店舗などを活用してPRするような取組みも検討されたい。

【行政からの意見】

商工会が実施する地域活性化事業など、様々な事業に取り組んでいることについて行政としてとても感謝している。職員一人一人が真剣に小規模事業者の活性化への取組みが伺える。牧之原市としては「中小企業・小規模企業振興基本条例」も制定され、その条例を基に今後は「中小企業者・小規模事業者」の支援策を検討していくこととなる、商工会としての協力も必須となるため更なる協力をお願いしたい。